

足利家



豊臣秀吉
豊臣秀吉 茶杓
桃山時代 16世紀

豊臣



豊臣秀吉
唐物「厨衝茶入」銘「薬師院」
南宋時代 13、14世紀

織田家

酒井抱一
酒井抱一
十二ヶ月図短冊帖(部分)
江戸時代 18、19世紀

徳川家

武将や大名家に

伝来した

多彩な道具

伊達家

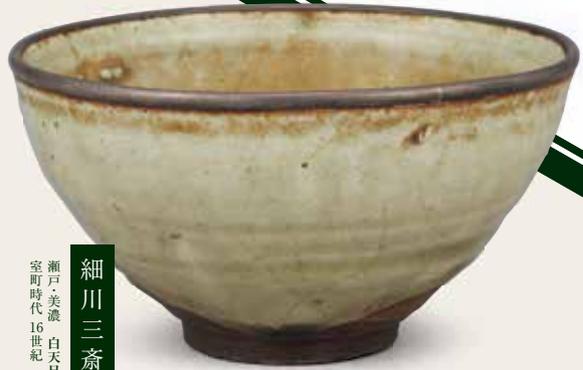
古田織部
美濃
織部はじき香合
桃山時代 17世紀



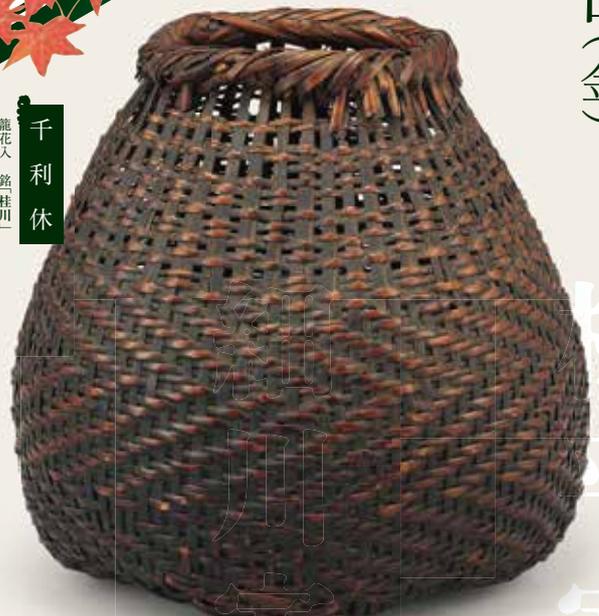
武家茶の湯

Samurai
and
the Tea
Ceremony

2019年
10月26日(土) — 12月20日(金)



細川三斎
瀬戸・美濃 白天眼茶碗
室町時代 16世紀



千利休
籠花入 銘桂川
桃山時代 16世紀

池田家

酒井家

水野家

細川家

松平家

休館日：月曜日、11/5(火) ※但し11/4(月・振替休日)、11/25(月)は開館
開館：午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
観覧料：一般/700(550)円、大高生/450(350)円、中学生以下無料※(内は20名以上の団体料金)
主催：公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社
※作品保護のため、一部展示替えを行います

酒井抱一 十二月月圖短冊貼(12枚のうち) 江戸時代18〜19世紀 ※頁替えあり



原羊遊齋
菊時絵大東
江戸時代18世紀



松平不昧

小堀遠州



景徳鎮窯
祥瑞洲浜形鉢
明時代17世紀

足利義教

鎌倉時代以後、將軍家や大名などの武家は、はるばる大陸からもたらされた茶器や美術品を、「唐物」と称して珍重しました。また、桃山時代から江戸時代初期にかけて、わび茶の形成に大きく貢献した千利休(二五二―一九一)に続き、古田織部(五四三―一六二五)や小堀遠州(一五七九―一六四七)らの大名が茶人として活躍し、茶の湯の新たな潮流を作り出していました。江戸時代には、茶の湯は武家にとって必須の教養となり、松平不昧(一七五一―一八一八)など、茶の湯に深く傾倒した大名は少なくありません。本展では、香雪美術館所蔵の村山コレクションから、武家に縁のある茶の湯の道具約60点を紹介します。



長束正家

朝鮮 割高台茶碗
長束割高台
朝鮮時代16世紀

重要文化財 梁橋 布袋図 南宋時代13世紀 ※展示期間 10月26日(土)〜11月17日(日)



関連イベント 梅園会(講演会と茶会)

「侘茶と武家茶―宗旦の手紙や逸話から」

生形貴重氏 (千里金蘭大学名誉教授)

2019年10月27日(日)

開催時間: 講演:午後1時/茶会:午後3時から

定員: 50名 (応募多数の場合は抽選)

参加費: 3,500円 ※「武家と茶の湯」展の入場料を含みます。

締め切り: 9月30日(月) 必着

参加申込方法 往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。はがき1枚につき1名のみ申込みできます。申込み受付後、参加費事前入金のご案内を書面で連絡いたします。

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1 香雪美術館「梅園会」係

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日(ただし11/23は除く)

午後2時から、

学芸員によるギャラリートークを行います。

※ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。



【交通案内】
阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分、阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分

香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1

Tel 078-841-0652 Fax 078-841-1402

http://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage